
今日 の 力

2025年8月18日 ～ 8月24日

翻訳 ハイステン 悦子
村越 克子
野口 恵美子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

8月18日（月）

やすしや 罪の世にも

聖書朗読 ヨハネの福音書 14：25～31

わたしは、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。あなたがたは心を騒がしてはなりません。 恐れてはなりません。 ヨハネ 14：27

イエス様が『わたしの平安』と言われた時、何を意味されたのでしょうか。キリストの平安とは墮落したこの世が与え得るものを超えた希望と安心です。（ピリピ4：7）

イエス様はどのような平安を与えてくださるのでしょうか。イエス様は『人のすべての考えにまさる』内なる平安を与えてくださいます。多くの人々が心の平安を見つけるために様々な方法を試みました。しかし、神様のみが真の心の平安を与えることができます。それは、私達が自分の人生をキリストに委ね、神様の全てのおきてに従うことを学ぶ時に起こります。キリストにある平安は、イエス様の福音に従い、その教えと命令に忠実に生きることによって見出されます。

人生には死、病気、困難な時のような嵐がやってきます。それは“もし”ではなく、“いつ”かの問題であり、私達はそれに備えなくてはいけません。もし私たちが誠実に日々キリストのために生き、光の中を歩もうとするなら、日々『私たちは互いに交わりを保ち、御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。』（ヨハネ1：7）それが、この暗く罪に満ちた世界でイエス様の全き平安を体験する時です。

讃美歌 295 やすしや 罪の世にも

祈り 天におられる私達のお父様。御名があがめられますように。忠実なクリスチャンとしてあなたの光の中を歩もうと努力する私達が、この滅びゆく世界で失われた者を探し救えるように、この平安を私達の生活の中に与えてくださいますようお願いします。主よ、早く来てください。イエス様の御名によって。アーメン。

アラバマ州 ディケーター / ティム・トーマス

8月19日（火）

喜びのために選ばれた

聖書朗読 ヨハネの福音書 15：12～17

あなたがたがわたしを選んだのではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。それは、あなたがたが行って実を結び、そのあなたがたの実が残るためであり、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものは何でも、父があなたがたにお与えになるためです。 ヨハネ 15：16

自分が何を提供できるかではなく、ただ愛されているという理由で選ばれるということには深い喜びがあります。イエス様に選ばれたと伝えられた時の弟子達の驚きを想像してみてください。彼らは社会のエリートでもなければ、将来明らかに偉大な人物になりそうな人たちでもありませんでした。彼らは漁師、取税人、そして普通の人達でした。それなのにイエス様は彼らを召され、彼らの人生に永遠の目的を与えられました。

イエス様の選択は弟子達のためだけではありませんでした。それはあなたのためなのです。イエス様はただあなたを大目に見たり受け入れたりするのではなく、イエス様はあなたを愛し、実を結ぶようにあなたを任命されたのです。その実はこの世的な成功ではなく、主の御霊があなたの内に、そしてあなたを通して働かれ、愛、喜び、平安などを生み出すことで測られるのです。

それを知ったうえで、私達はどうか応えますか。私達は主のうちにとどまり、主の愛にあって安らぎ、主に私達の人生を形造っていただきます。十分であろうと努力することではなく、主の愛がすでに私達を十分にしてくださっていることを知ることに、私達は喜びを見出すのです。

讃美歌 54 よろこびの日よ

祈り 主よ、私を選んでくださってありがとうございます。あなたが与えてくださった喜びと目的をもって生き、あなたを讃える実を結べるように助けてください。イエス様の御名により。アーメン。

ミズーリ州 ウェスト・プレインズ / ルース・ムーア

8月20日（水）

主の食卓への招待状

聖書朗読 ヨハネの福音書 17：20～26

それは、御子が多く兄弟たちの中で長子となられるためです。 ローマ 8：29b

家族が共に過ごす時間は、多くのジョークやコメディー、映画などでネタにされてきました。クレイジーな親戚のおかしな話、感謝祭の食事の際の口論、そして辛いドライブ旅行などが簡単に思い浮かびます。それはテレビや映画の中だけの話ではありません。私達にも経験があるかもしれません。

意見の食い違いやトラブルの可能性が高いのに、私達はどのようにして家族全員が集まることを望むのでしょうか。そこには私達を突き動かす何かがあるに違いありません。なぜなら私達は今でもディナー、祝日、バケーション、パーティーなどを家族で祝っているからです。答えは愛です。私達はお互いを愛しているので、家族の欠点を見過ごします。その愛は、欠点によって邪魔されるよりも大きな喜びをもたらすのです。

私達の血の繋がった家族関係に問題があるなら、神様が御自分の子供達をどう見ておられるかを想像してみてください。それでも神様の愛は揺るぎません。神様は私達を許してくださったので、私達は御霊の完全な一致の中で主の食卓につくことができるのです。私達は、そのために父なる神様が大きな犠牲を払ってくださったものを軽視してはいけません。共に集まる中で、私達がその真実によって謙虚にされ励まされますように。主の食卓は、主を信頼して従う全ての者に開かれています。

讃美歌 385 うたがい迷いの

祈り 親愛なる御父様。私達が互いに愛し合い、共にいることの喜びを通して世界に私達があなたのものであることを示せるように、私達に一致の御霊を与えてください。イエス様の御名により。アーメン。



テキサス州 アビリン / ナンシー・ベーカー

8月21日（木）

私達の家族を気に掛ける

聖書朗読 ヨハネの福音書 19:16～27

もしも親族、ことに自分の家族を顧みない人がいるなら、その人は信仰を捨てているのであって、不信者よりも悪いのです。
デモテ I 5:8

十字架に掛けられた真にその瞬間に、人となられた神様イエス様が御自身の家族とどう関わられたかを見ることは何て啓発的なのでしょうか。イエス様は使徒ヨハネに御自分ではもうすることのできない、母親の世話を託しました。

聖書には、ヨハネは直ぐに彼女を自分の家に引き取ったと記されています。これを読んだ人の中には、聖地を訪れて、エペソでマリヤが亡くなるまで住んでいたと伝えられるヨハネの家を見たことがある人もいるでしょう。

聖書には、12歳になられたときのイエス様のことが書かれていて、『両親に仕えられた』とあります。（ルカ 2：51）イエス様の初期の働きにおいても、母親の要求に賛同していないように見えましたが、イエス様はカナの婚礼で母親の提案に従いました。イエス様は水をぶどう酒に変えることで、恥をかく状況から宴会の世話役を救われました。

イエス様の兄弟達は、イエス様の復活後までイエス様を信じませんでしたが、弟ヤコブとユダはそれぞれ新約聖書のヤコブの手紙、ユダの手紙を書きました。神様は私達全員を天の永遠の家族の一員となるよう招くことで、その偉大な愛を示してくださっています。

讃美歌第二編 185 カルバリ山の

祈り 親愛なる主よ。あなたの天の家で永遠にあなたと住もうと招いてくださったことに、とても感謝しています。イエス様の御名により。アーメン。



アーカンソー州 サーシー / カール・ミッチェル

8月22日（金）

彼らはわからなかった

聖書朗読 ヨハネの福音書 20:1～18

そこでこのふたりも、残りの人たちのところへ行ってこれを知らせたが、彼らはふたりの話も信じなかった。
マルコ 16:13

自分と同じ信仰や信条を持たない人たちを理解するのは難しいことかもしれません。信仰に堅く立っていると、そういう人たちのことが信じられないと首を振りたくなりますが、信仰というものは必ずしもそう単純なものではありません。

イエス様が復活された朝、イエス様のお傍でお仕えしていた弟子たちでさえ、イエス様の復活をなかなか信じることはできませんでした。おそらく一番疑い深かったことで知られているトマスは、「私は、その手に釘の跡を見…なければ、決して信じません」と宣言しました。（ヨハネ 20：25）トマスの疑いは反抗ではなく、希望と悲劇を一致させようともがく心の痛みでした。

墓に来た女たちは、墓が空っぽだとは思っていませんでしたし、ましてや復活されたメシアに出会うとは予想だにしていませんでした。「あなたが、あの方を運んだのでしたら、どこに置いたのか教えてください」とマリヤは、目の前に立っているお方が救い主であるとまだわからずに、そう言いました。疑いの霧の中にいると、イエス様が目の前にいらっしゃるにもかかわらず、イエス様を完全に見失ってしまうことがあります。

疑いから信仰への行路は人それぞれです。マリヤの場合は、イエス様が「マリヤ。」と言われた瞬間、疑いのベールが取り除かれて、イエス様をはっきりと見ることができました。トマスは信じるために、救いをもたらすイエス様の傷に触れる必要がありました。ペテロの信仰は、イエス様が水の上を歩いて近づいて来られたとき強固になりました。あなたの場合は、どのようにして疑いから信仰に導かれましたか。あなたが疑いの中にあるとき、イエス様はどこであなたと出会い、愛を示してくださいましたか。

讃美歌 298 やすかれ わが心よ

祈り 親愛なるお父様。疑いの中にいる私たちに会い、優しく信仰へと導いてくださったことに感謝します。あなたをはっきりと見るように助けください。イエス様のお名前において。アーメン。

カリフォルニア州 マーセド / ブルース W・ローグ

8月23日（土）

悲 し み と 喜 び

聖書朗読 ヨハネの福音書 20：11～19

まことに、まことに、あなたがたに告げます。あなたがたは泣き、嘆き悲しむが、世は喜ぶのです。あなたがたは悲しむが、しかし、あなたがたの悲しみは喜びに変わります。
ヨハネ 16：20

私は毎日、母のことを思い出します。亡き母を思い出すことは悲しく、時々涙することさえあります。一方、矛盾するかもしれないのですが、母のことを思い出すことは私にとって喜びでもあるのです。在りし日の母を思い、笑顔になり、時には笑ってしまうことさえあります。そして何よりも母との思い出は、私が母を敬って生きる原動力になっています。

母のレシピで料理をし、姪や甥に食事を振る舞う時、食卓に母の大切にしていたお皿を並べながら、母を思い出し、私はこう言います。「あなたがたをサイコーに愛しているわ。」それは、私の母が私にいつも言っていた言葉でした。私の指には今、母の指輪がはめられています。そして母と私が手をつないでる写真を見ると、母の思い出が喜びとなって溢れてくるのです。そして、そのすばらしい思い出で心が満たされるのです。

私たちが大切な人を失う時、それは忘れられない思い出となって残ります。思い出には喜びと悲しみ、涙と笑いが混じり合っています。そして、思い出は空っぽの場所を満たしてくれます。

今日の聖書の箇所では、弟子たちは、彼らの指導者であり、友であり、先生であるイエス様を失いました。彼らは嘆きの中にいました。しかし、その後間もなくすると、嘆きは大いなる喜びに変わりました。彼らの嘆きは主の御霊で満たされたのです。そしてすばらしい思い出と力で満たされました。彼らの失ったもの、得たもの、涙、喜びは、私たちのすばらしい将来を示すものであり、生きる希望です。

讃美歌 112 もろびとこぞりて

祈 り 主よ、私たちを取り囲むあなたの愛と、あなたが残してくださった思い出を讃美します。しかし、それよりももはや涙もなく別れもない、あなたの御座という希望を讃美します。イエス様の聖なるお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 サンタ・バーバラ / シャリン H・ムーア

8月24日（日）

嵐 の 真 っ 只 中

聖書朗読 使徒の働き 17：22～27

この世界とそこにあるすべてのものをお造りなされた神は、永遠の主ですから、手でこしらえた宮などにはお住みになりません。
使徒 17：24

災害救援隊が竜巻街道として知られているオクラホマの平原にやってきました。ボランティアとして、私たちはツインレイク・トレーラー・パーク*の瓦礫の中を歩き、避難している子どもたちを見つけました。（*編注：ハウストレーラー用のキャンプ場）私たちは、その子供たちを家族と友人のもとへ引き渡しました。また、困っている家族には食料を届けました。壊滅的な被害にも関わらず、土地を奪われた人々の顔には希望と決意がありました。それはまさに嵐の中の信仰でした。

私たちが歩いていると、かつて家があった場所の木に掛けられた看板がありました。それにはこう書かれていました。《神にはどんなことでもできます》（訳注：マタイ 19：26）この嵐の真っ只中であって、なんという信仰でしょう。

パウロは、アレオパゴスの丘に集まった人々に、目で見ることにはできない神、しかし探し求めれば見出すことができる神を指し示しました。オクラホマの嵐の話に戻りますが、嵐の被害者は、犠牲者であるという恐怖よりも、神様を信じる気持ちが強く、迷信を全く信じてはいませんでした。神様は彼らにご自分を見つけて欲しかったと同時に、彼らを探していました。神様は彼らの近くにおられました。彼らには嵐の真っ只中において確固たる信仰がありました。

私たちが危機の時に神様を探し求める時、人を通して示される神様の愛を求めます。例えば、助け、祈り、物質的援助等です。私たちは神様を見いだします。嵐の真っ只中でも、『私たちは、神の中に生き、動き、また存在しているのです。』

聖 歌 232 つみとがをゆるされ

祈 り 天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。御国が来ますように。みこころが天で行なわれるように地でもおこなわれますように。イエス様のお名前により。アーメン。

オクラホマ州 テクムセ / グレンダ・マゼット